

第六次総合計画 施策評価シート(令和元年度)

5-②

施策

ボランティア・NPOなどの自律的かつ公益的な活動を促進する

担当部局

企画財政局



【自律】めざまちの姿 ボランティア・NPOなどの市民活動が活発に行われている

市の基本方針

- 公益的な事業に取り組むNPOなどの活動基盤の強化に向けての支援や、大学や企業なども含め、市民公益活動団体や個人が、その特性を生かして、まちづくりに参加し、さまざまな活動に取り組むことができるよう、情報共有や連携しやすい環境整備を促進します。
- ボランティア・NPO活動参加への気運を盛り上げ、きっかけづくりを進めるとともに、活動や交流が促進されるよう情報提供を行います。
- NPOが自立的に安定して活動を継続できるよう、人材確保と育成のための研修の充実など、組織的な基盤強化に向けて、中間支援組織を主体とした支援の仕組みづくりを進めます。
- 協働のルールづくりを進め、NPOが主体的にかかわることと合わせて、市内の協働推進体制を整えることで、ボランティアやNPOなどと行政が共に公共的な役割を担う「支え合いと活気のある社会」の実現をめざします。

数値目標

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
<p>企画段階からボランティアグループやNPOと協力して実施された事業数</p>	<p>↑</p>	<p>市内各課に照会</p> <p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、44事業増え、前年度に比べ、5事業増えた。</p> <p>(Ⅱ) 新規協働事業が60件で、協働終了事業が55件あった。</p> <p>(Ⅲ) 協働推進員等への研修などにより、協働に対する意識啓発に取り組んだ成果が現れてきているものと考えられる。</p>
<p>日常的に(おおむね週4日以上)、市民活動に従事しているスタッフのいる団体の割合</p>	<p>↑</p>	<p>市内の市民活動団体・NPOを対象としたアンケート調査で、「あなたの団体には、日常的に(概ね週4日以上)市民活動に従事しているスタッフがいらっしゃいますか。」という設問に対して、『いる』と回答した団体の割合。</p> <p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、11ポイント上がり、前年度に比べ、5.6ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P139】</p> <p>(Ⅱ) 「いる」という団体のうち、そのスタッフの人数は、2人以下が45.9%で、昨年より約2.3ポイント減少している。3～5人が29.1%で昨年より4.2ポイント増加している。</p> <p>(Ⅲ) 当初より上昇傾向にある。市民企画提案事業等の市民活動団体の自立支援や協働への環境整備の取り組みの成果が表れてきているものと考えられる。</p>
<p>地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと考えている人の割合</p>	<p>↑</p>	<p>市民アンケート調査で「地域の課題を解決するためには、ボランティア・NPOの市民活動が必要だと思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。</p> <p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、4.6ポイント下がり、前年度に比べ、2ポイント上がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P72】</p> <p>(Ⅱ) 16～19歳と70歳以上が60%程度と高く、30歳代が30%台、その他の年代では40～50%台となっている。30歳代では「わからない」と答えた人が50%台と高く、その他の世代では20～40%台となっている。</p> <p>(Ⅲ) 前年度より上昇しているものの、目標値よりは低い。「わからない」と答えた人が多いことから、市民活動団体の情報発信や活動内容に対する認知度・信頼度を上げていく施策が必要と考えられる。</p>

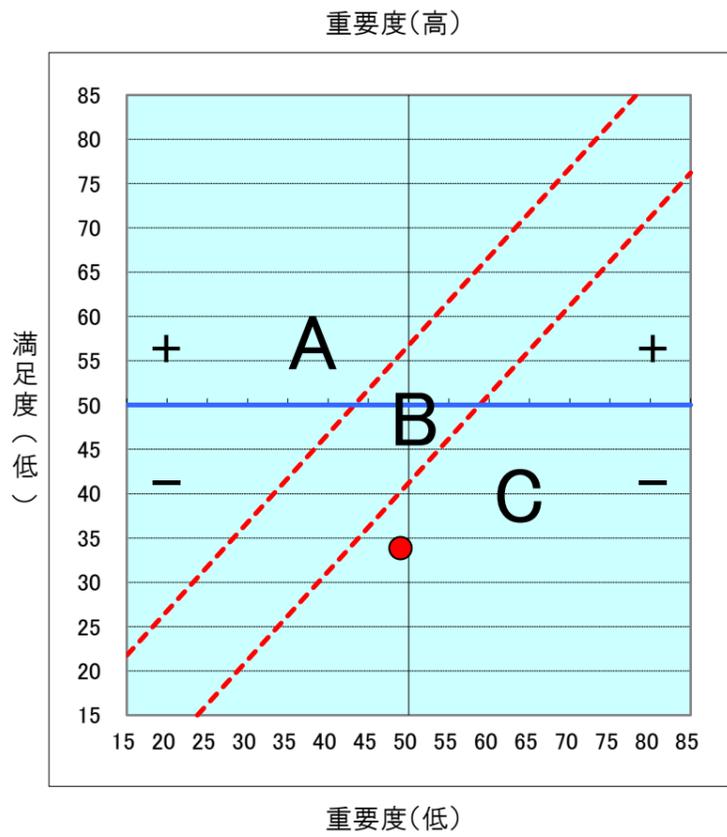
まちづくり指標	目指す方向性	算出方法																																				
ボランティア・NPOなどの市民活動に参加している市民の割合	▲	市民アンケート調査で「ボランティア・NPOなどの市民活動に参加していますか。」という設問に対して、『参加している』と回答した人の割合。																																				
<table border="1"> <caption>ボランティア・NPOなどの市民活動に参加している市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>15.5</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>H23</td><td>10.9</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>10.7</td><td>18.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>10.1</td><td>21.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>10.0</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>9.9</td><td>27.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11.5</td><td>18.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>9.4</td><td>16.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9.7</td><td>27.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td>37.0</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	15.5	15.5	H23	10.9	18.0	H24	10.7	18.2	H25	10.1	21.8	H26	10.0	21.7	H27	9.9	27.0	H28	11.5	18.3	H29	9.4	16.9	H30	9.7	27.5	R1			R2		37.0	<p>動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、5.8ポイント下がり、前年度に比べ、0.3ポイント上がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P73】</p> <p>(Ⅱ) 年代別では、16～19歳が20.0%、60歳代が14.3%と高く、20歳代・30歳代・50歳代が低くなっている。</p> <p>(Ⅲ) 昨年度より減少しており、目標値からは大きく下回っている。20歳代から50歳代の働く世代は、市民活動への参加が難しいものと考えられる。寄附や情報発信などのさまざまな市民活動の形があることを発信する必要がある。</p>
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																				
H21	15.5	15.5																																				
H23	10.9	18.0																																				
H24	10.7	18.2																																				
H25	10.1	21.8																																				
H26	10.0	21.7																																				
H27	9.9	27.0																																				
H28	11.5	18.3																																				
H29	9.4	16.9																																				
H30	9.7	27.5																																				
R1																																						
R2		37.0																																				

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法																																				
団体の活動について、企業に支援されているNPOの割合	▲	市内の市民活動団体・NPOを対象としたアンケート調査で、「あなたの団体は、企業から何らかの支援を受けていますか。」という設問に対して、『受けている』と回答した団体の割合。																																				
<table border="1"> <caption>団体の活動について、企業に支援されているNPOの割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>16.5</td><td>16.5</td></tr> <tr><td>H23</td><td>18.0</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>18.2</td><td>18.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>21.8</td><td>21.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>21.7</td><td>21.7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>18.3</td><td>27.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>16.9</td><td>18.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27.5</td><td>16.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>21.7</td><td>27.5</td></tr> <tr><td>R1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>R2</td><td></td><td>37.0</td></tr> </tbody> </table>		年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	16.5	16.5	H23	18.0	18.0	H24	18.2	18.2	H25	21.8	21.8	H26	21.7	21.7	H27	18.3	27.0	H28	16.9	18.3	H29	27.5	16.9	H30	21.7	27.5	R1			R2		37.0	<p>動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、5.2ポイント上がり、前年度に比べ、5.8ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P141】</p> <p>(Ⅱ) 具体的な支援としては、寄附金などの経済的支援(21団体)が最も多く、機材や物品など現物支援(9団体)、人材支援(4団体)の順となっている。</p> <p>(Ⅲ) 昨年度より減少しており、目標値からは大きく下回っている。企業に対するNPOの活動に対するPRが必要と考えられる。</p>
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																				
H21	16.5	16.5																																				
H23	18.0	18.0																																				
H24	18.2	18.2																																				
H25	21.8	21.8																																				
H26	21.7	21.7																																				
H27	18.3	27.0																																				
H28	16.9	18.3																																				
H29	27.5	16.9																																				
H30	21.7	27.5																																				
R1																																						
R2		37.0																																				

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度決算額(千円)
	市民企画提案事業	(Ⅰ) 市民活動の活性化、市民と行政の協働によるまちづくりを推進することを目的に実施した。 (Ⅱ) 自主事業(3事業)及び行政との協働事業(6事業)に補助を行った。申請団体が目指す成果を達成できるよう、事業計画作成段階から事業実施完了まで事務局が伴走しながら支援を行った。 (Ⅲ) 事業内容を検討しながら、継続して実施する。	2,834
	児島及び玉島市民交流センター管理運営事業	(Ⅰ) 公民館、図書館、武道館、公園などの機能を集約した市民交流拠点として、より良質な市民サービスの提供を目的に実施した。 (Ⅱ) 指定管理者による維持・管理と地域活性化に向けた講座・講演会及び地域との連携事業を実施し、児島市民交流センターは324,220人、玉島市民交流センターは162,953人の利用があった。 (Ⅲ) 更に利用者が増加するように、継続して実施する。	172,985
	環境交流スクエア管理運営事業	(Ⅰ) 市民の相互交流及び地域の活性化を目的に実施した。 (Ⅱ) 平成25年度より指定管理者制度を導入し、交流フロア、スポーツフロア及び芝生広場など、施設の維持・管理や地域活性化に向けた事業を実施し、全体で延べ123,373人の利用があった。 (Ⅲ) 更に利用者が増加するように、継続して実施する。	76,906
	倉敷市市民活動センター管理運営事業	(Ⅰ) 市民活動を促進し、活力ある地域社会を実現するための情報提供や市民・市民活動団体の交流を目的に実施した。 (Ⅱ) 市民活動団体の活動拠点となる倉敷市市民活動センターを管理・運営し、会議室、印刷・作業コーナー、情報・交流コーナーなど、全体で延べ5,767人の利用があった。 (Ⅲ) 更に利用者が増加するように、継続して実施する。	3,509
	協働のまちづくり推進事業(再掲)	(Ⅰ) 各所属に配置した協働推進員等が、協働の目的や意義、手法などについて学び、各事業において協働の実践を促すことを目的に実施した。 (Ⅱ) 協働推進員等に対し集合研修を実施し、協働の意識啓発に努めた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,652
	倉敷市市民公益活動情報サイト運営事業	(Ⅰ) NPOや地域コミュニティ活動の情報発信の支援を目的に実施した。 (Ⅱ) 情報発信ツールであるブログの投稿を推進することにより、市民活動団体が行う事業の様子を市民に周知できるように努めた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	—
公創	高梁川流域協働のまちづくり推進事業(再掲)	(Ⅰ) 高梁川流域各自治体市町の課題の共有の場をつくり、共通の課題解決に連携して取り組むことにより、地域、団体相互のネットワーク形成を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 高梁川流域自治体の市町担当者による協議2回、若手NPO活動家による円卓会議を1回、若手NPO活動家と流域市町とのマッチングによる課題解決事業2事業を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,191
公創	高梁川流域地域づくり連携推進事業(再掲)	(Ⅰ) 高梁川流域圏の市町に市民活動団体の持つノウハウを広めることを目的に実施した。 (Ⅱ) 1事業に補助した。倉敷市で活動する団体から早島町の団体に対するノウハウ移転事業に補助し、ノウハウ移転を受けた団体による、早島町における単独での事業実施につながった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	369

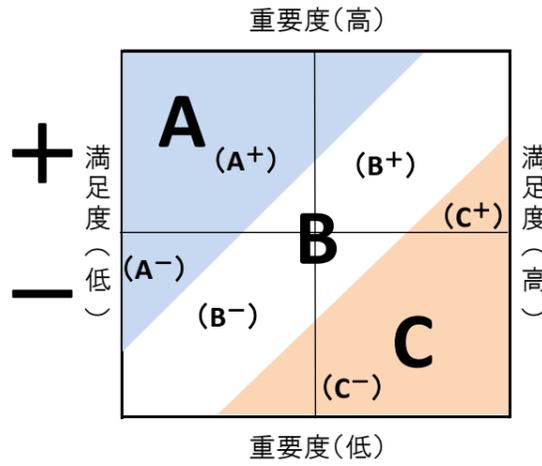
市民の重要度・満足度(R1.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C ⁻	33.82	49.02

●重要度に見合う以上の満足度が得られている(C)
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B: 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +: 重要度が平均値より高い部分
 -: 重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

課題

- 市民、職員双方の協働によるまちづくりへの理解や意識がまだ十分でなく、NPOや事業者などが公共を担うという認識が低いため、市民や市民公益活動団体等と行政が共に課題解決に取り組む場や仕組みづくりが必要である。
- NPOなど市民公益活動団体の自立的、安定的な活動を促すための支援の強化が必要である。

今後の取組み方針

- 市民、NPO、事業者、行政など、所属・年齢を問わず様々な人が集まり、倉敷市が抱える社会課題の効果的な解決について協働で考えるワークショップを開催し、参加者同士が自由に発言し交流することを通じて、まちづくりへの機運を盛り上げ、活動に参加するきっかけづくりを行う。
- 市民企画提案事業の実施を通じて、市民と行政が協働しやすい環境づくりを行う。同時に、市民公益活動団体が自立して事業を継続できるよう活動基盤の強化を行う。